

D様式(b)(排ガス測定により算定する場合)

(1) 賦課金番号

● 申告書に入力されている汚染負荷量賦課金番号を入力してください。

申告書に入力した納付義務者名、工場・事業場名を入力してください。

(2) No.

● D様式の全使用枚数と通し番号です。この例では、全2枚のうちの2枚目であることを表します。

● Excel雛型ファイルで様式を追加することにより、自動的にNo.が付与されます。

(3) 脱硫の有無

● 脱硫がない場合は「無」、脱硫がある場合は、該当する脱硫方式を選択してください。(複数選択可)

■ 排ガス測定時に助燃剤等を使用している場合には、(4)~(10)欄の入力は不要です。

(4) 助燃剤等

● 実際で使用している助燃剤の名称を選択してください。  
 ● 実際で使用している助燃剤の名称を入力してください。助燃剤のコードは、燃原料コード表(73ページ)から選び、入力してください。

(5) 焼却年月

● 焼却した期間を、月単位で入力してください。(例: 1月~12月)

(6) 焼却量

● 助燃剤の焼却量を、小数点以下の端数を切り捨てた整数値で入力してください。

単位

● 助燃剤に応じて、単位を選択してください。

(7) 密度 (g/cm<sup>3</sup>) ※1

● 助燃剤購入先の成績表などの数値を利用して、小数点以下4けた目を切り捨て、3けたまでの数値を入力してください。

(8) 含有硫黄分 (%) ※1

● 助燃剤購入先の成績表などの数値を利用して、小数点以下3けた目を切り捨て、2けたまでの数値を入力してください。  
 ● 硫黄分の分析データが無い場合は、標準的硫黄分一覧(73ページ)の数値を使用してください。

※1「密度」「含有硫黄分」計算時の留意点

● 自社測定によらざるを得ない場合は、理由・測定方法・測定者・測定データを明記した書類を添付してください。  
 ● 1年間で密度や含有硫黄分が異なる燃原料を使用した場合は、それぞれの成績表の数値を使用して加重平均した値を入力してください。また、その場合、加重平均一覧表を作成し、添付してください。(39ページ)

(9) 補正後の脱硫効率 (%)

● 脱硫装置を使用している場合、添付書類E様式にて補正後の脱硫効率を算定し、添付してください。  
 ● E様式で算定した補正後の脱硫効率を、小数点以下3けた目を切り捨て、2けたまでの数値(%表示)で入力してください。  
 ● 複数回脱硫効率を算定している場合には、単純平均した数値を入力していただいて構いません。

(10) SOx排出量 (m<sup>3</sup> /年)

● (6)~(9)を入力すると、自動的に計算されます。  
 ● SOx排出量を計算し、小数点以下2けた目を切り捨て、1けたまでの数値を入力してください。(38ページ)

(18) 焼却年月 (入力済みです)

(19) 焼却量 (kg)

● 焼却量を、小数点以下の端数を切り捨てた整数値で入力してください。

(20) 補正排出ガス量 (m<sup>3</sup> /h) ※2

● b様式の「4.⑩補正排出ガス量」(62~65ページ)で算定した補正排出ガス量を入力してください。

(21) 補正SOx濃度 (ppm) ※2

● b様式の「4.⑧補正SOx濃度」(62~65ページ)で算定した補正SOx濃度を入力してください。

(22) 測定中の焼却量 (kg/h) ※2

● 排ガス測定時の1時間当たりの焼却量をkg単位(1kg未満の端数は切り捨て)で入力してください。

(23) 1t当たりのSOx量 (m<sup>3</sup> /t) ※2

● (19)~(22)を入力すると、自動的に計算されます。  
 ● 1tあたりのSOx量を計算し、小数点以下4けた目を切り捨て、3けたまでの数値を入力してください。(計算のしかたは、38ページをご覧ください。)

※2「(20)補正排出ガス量」または「(21)補正SOx濃度」を測定していない月は空欄のままとし、「0」は入力しないでください。

(24) 年間焼却量

● 各月を入力すると、自動的に計算されます。  
 ● 1月~12月までの焼却量の合計を入力してください。

(25) 平均値

● 自動的に平均値が計算されます。  
 ● 「(23)1t当たりのSOx量」を算術平均し、平均値を小数点以下4けた目を切り捨て、3けたまでの数値とし、入力してください。

(26) 年間SOx排出量 ((24)×(25)) (m<sup>3</sup> /年)

● 自動的に計算されます。  
 ● 「(24)年間焼却量」×「(25)平均値」× $\frac{1}{1000}$ で計算し、小数点以下2けた目を切り捨て、1けたまでの数値を入力してください。(計算のしかたは、38ページをご覧ください。)

● 申告書「⑤(イ)硫黄酸化物排出量」欄には、算定様式ごとに算定された「年間SOx排出量」を合計し、小数点以下を切り捨てた数値を入力してください。

(27) SOx排出量の合計 ((10)+(16)+(26))

● 自動的に計算されます。  
 ● (10)と(26)を合計してください。

(11) 廃棄物の種類

● 実際に焼却している廃棄物の名称を選択してください。「その他の廃棄物」を選択すると、廃棄物の「具体名」を入力する欄が自動的に表示されます。

● 該当の番号に○または実際に焼却している廃棄物の名称を入力してください。

● 燃原料のコードは、燃原料コード表(73ページ)から選び、入力してください。

(17)b.排出ガス測定より算定する場合

● ラジオボタン(●)をクリックして選択してください。

● 操作のしかたは、36ページをご覧ください。

(廃棄物を焼却する清掃工場の場合)

平成XX年度汚染負荷量賦課金  
年間排出量の算定の過程を示す書類(D)

(1)賦課金番号: 06041010  
工場・事業場名: 大手町 西焼却場  
(2)No.: D-02 / 02

(3)脱硫の有無:  無  
 排煙脱硫  
 集じん等脱硫

種別	(5)焼却年月	(6)焼却量	単位	(7)密度	(8)含有硫黄分	(9)補正後の脱硫効率	(10)SOx排出量
(4)助燃剤等				g/cm <sup>3</sup>	%	%	m <sup>3</sup> /年
A重油	1月~12月	94,772	L	0.853	0.07		39.6
			L				0.0

(11)廃棄物の種類: 都市ごみ

(18)焼却年月	(19)焼却量	(20)補正排出ガス量	(21)補正SOx濃度	(22)測定中の焼却量	(23)1t当たりのSOx量	(28)年間SOx排出量
XX年	kg	m <sup>3</sup> /h	ppm	kg/h	m <sup>3</sup> /t	m <sup>3</sup> /年
1月	3,386,430	45,000	25	5,825	0.193	
2月	2,723,040				0.000	
3月	2,781,090	36,900	21	4,980	0.155	
4月	2,009,600				0.000	
5月	2,116,500	41,200	26	5,082	0.211	
6月	2,482,110				0.000	
7月	3,448,830	47,200	23	5,387	0.248	
8月	3,718,860				0.000	
9月	1,155,550	43,500	24	5,028	0.207	
10月	2,843,720				0.000	
11月	3,155,820	48,800	23	5,124	0.223	
12月	2,936,780				0.000	
(24)年間焼却量	32,763,130					6,716.4
(25)平均値					0.205	
(27)SOx排出量の合計 ((10)+(16)+(26))						6,758.0

操作ボタン: 入力チェック, 算定様式の追加, 算定様式の削除, 印刷, エクセル保存, 前年度データ複写, 終了